

2011年度

科目名	英米文学概論			
担当教員	森井 哲二			
配当	教福2		コード	15024
開期	通年	講時	月曜日5限	単位数 4
授業テーマ	英米文学に関する基礎的知識の習得を目指します。			
目的と概要	その文化的・歴史的背景と共に、英米文学の大きな流れをたどります。 詩、戯曲、小説等における代表的な作者・作品の特色や意義を概観します。 併せて、それぞれに関連する主要な概念の把握にも努めます。			
成績評価法	毎回の小テスト(80%)及び授業時の発言を含む受講状況(20%)を総合して評価します。			
テキスト	特に定めません。			
参考書	An Outline of English Literature / G.C.Thornley & Gwyneth Roberts / Longman			
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	高校で学習する世界史および日本史(特に文学)の知識が有効となります。 復習しておいてください。			
講義計画				
原則として毎回小テストを行ないます。 第1回 授業方針の説明（必ず出席してください） 文学：日本文学、ドイツ文学、フランス文学、ロシア文学、英米文学等； 詩、戯曲、小説等 第2回 英米文学の背景（1） 第3回 英米文学の背景（2） 第4回 英米文学の背景（3） 第5回 英米文学の背景（4） 第6回 英米文学の背景（5） 第7回 英米文学の背景（6） 第8回 英国古代史 第9回 アングロ・サクソン(Anglo-Saxon)語あるいは「古英語」（1） 第10回 アングロ・サクソン(Anglo-Saxon)語あるいは「古英語」（2） 第11回 アングロ・サクソン(Anglo-Saxon)語あるいは「古英語」（3） 第12回 アングロ・ノルマン(Anglo-Norman)語あるいは「中英語」前期（1） 第13回 アングロ・ノルマン(Anglo-Norman)語あるいは「中英語」前期（2） 第14回 近代英語；英語とギリシヤ語・ラテン語；米語 第15回 Beowulf（8th-10th century） 第16回 Geoffrey Chaucer: The Canterbury Tales（c.1387-1400） 第17回 Edmund Spenser: The Faerie Queene（1590、1596） 第18回 Thomas Kyd: The Spanish Tragedy（c.1589） 第19回 Christopher Marlowe: Doctor Faustus（c.1588） 第20回 William Shakespeare: King Lear（1605-6） 第21回 John Milton: Paradise Lost（1667） 第22回 John Bunyan: The Pilgrim's Progress（1678、1684） 第23回 William Blake; William Wordsworth 第24回 George Gordon Byron; Percy Bysshe Shelley; John Keats 第25回 Daniel Defoe: Robinson Crusoe（1719） 第26回 Sir Walter Scott: Ivanhoe（1819） 第27回 R.L.Stevenson: The Strange Case of Dr.Jekyll and Mr.Hyde（1886） 第28回 Thomas Hardy: Jude the Obscure（1895） 第29回 W.Somerset Maugham: Of Human Bondage（1915） 第30回 D.H.Lawrence: The Rainbow（1915） （なお各回取り上げるものは変更する場合があります。その点あらかじめご了解ください。）				